

エズラの務めとネヘミヤのリーダーシップとの内在的な意義——
新エルサレムを生かし出し、成し遂げることによって、
召会を神の家また神の王国として建造する

聖書：啓 21:2, 9-11, 18, 22:1

- I. エズラの務めの内在的な意義は、「きよめ」、「教育」、「再構成」という言葉に具体化されています。ネヘミヤのリーダーシップの内在的な意義は、「分離」、「保護」、「表現」という言葉に具体化されています。わたしたちは主の天の務めと協力し、この内在的な意義にしたがって、新エルサレムを生かし出し、成し遂げることによって、召会を神の家また神の王国として建造する必要があります——列王上 8:48. 詩 48:1-2. I テモテ 3:15. エペソ 2:21-22。
- II. 時代の務めにおける時代のビジョンにしたがって生活し、神に仕えることは、新エルサレムを生かし出し、成し遂げることです。「城壁は碧玉^{へきぎよく}で築かれ、都は純金であって、透き通ったガラスのようであった」——啓 21:18. 使徒 26:19. 22:15. 啓 21:2, 9-11:
 - A. 都が純金であって、透き通ったガラスのようであることが表徴するのは、わたしたちが神の聖なる性質による「きよめ」を必要とするということと、「教育」を通して照らされること、すなわち、聖書の教えをわたしたちの思いに適用して、わたしたちの思いが更新され照らされて、神の思想、考慮、方法について明らかになることを必要とするということです——参照、マタイ 5:8. エペソ 4:23. ヨハネ 17:17。
 - B. 「建造の働き」(啓示録第 21 章 18 節の「城壁は碧玉で築かれ」は、直訳すると「城壁の建造の働きは碧玉であって」となる)は、神の唯一の働きであって、三一の神をもってわたしたちを「再構成」します。それによって、わたしたちは彼をもって再建造され、そして彼を他の人たちの中へと供給します。それは彼がご自身を彼らの存在の中へと建造し込んで、彼ら^を新エルサレムの中にある人とするためです——I コリント 3:9, 12. エペソ 3:16-19. 啓 3:12. 雅 6:4. ヘブル 11:10。
 - C. 都とその城壁が表徴するのは、神の頭首権の下にある神の永遠の王国としての新エルサレムが、神の民を「分離」し、また神の權益を「保護」ということです——ネヘミヤ 4:17. エペソ 5:26。
 - D. 都の城壁が碧玉(神の命の豊かさ)であることと、都が金(神の神聖な性質)であることが啓示しているのは、神の永遠のエコノミーがわたしたちを、神格においてではなく、命と性質において彼であるのと同じにして、彼の

唯一の「表現」にならせるということです——創 1:26．ヨハネ 10:10 後半。
Ⅱペテロ 1:4．啓 4:3．21:10-11，18。

Ⅲ．新エルサレムを生かし出し、成し遂げることは、エズラの務めとネヘミヤのリーダーシップとの内在的な意義の中で生活し、仕えることです：

A．わたしたちは、すべての混合からきよめられる過程の中にとどまって、主と彼の永遠のエコノミーの権益とをわたしたちの唯一の目標とする必要があります——エズラ 9:2．マタイ 5:8．Ⅰテモテ 3:9．Ⅱコリント 6:4 前半，6．ルカ 9:54-55．ヘブル 4:12．列王上 8:48：

- 1．わたしたちがきよめられることができるのは、神の照らしと暴露と裁きとの過程を通してであり、十字架が終結させることと除き去ることを通してであり、血が清めることと洗うことを通してであり、その霊が流れることと浸透することを通してです——詩 139:23-24．51:7，10．啓 22:1。
- 2．わたしたちがきよめられることができるのは、神の純粋な言葉の中にある命の水の洗う過程を通してです。人は神の言葉の中にいればいるほど、ますます純粋になります——詩 12:6．119:9，140．エペソ 5:26．イザヤ 55:8-11。
- 3．レビ記第 19 章 19 節が啓示している事は、神が願っているのは、あらゆるものがその種類にしたがっていて、いかなる混合もないということです——啓 17:3-6．申 22:5，9-11．参照、創 1:11，21，24-26．2:7-9:
 - a．混合なしに家畜を交配させることが表徴するのは、命が混合させられてはならないということです。神の命によって生きる人は、肉によって生きてはなりません——参照、ガラテヤ 5:16。
 - b．混合なしに種をまくことが表徴するのは、言葉の務めにおいて、一種類の種、すなわち、一種類の教えだけがまかれるべきであるということです。それは、神の永遠のエコノミーの唯一の教えです——申 22:9．Ⅰテモテ 1:3-4．6:3。
 - c．混合した材料なしに衣を作ることが表徴するのは、わたしたちの振る舞いが混合させられてはならないということです。新約の命の中で生きる者は、旧約の規定によって生きるべきではありません(ガラテヤ 2:19-20．5:1-6)。主に属する者は、異邦人の習わしにしたがって生活すべきではありません(レビ 20:23．18:3．参照、エペソ 4:17．ローマ 12:2 前半)。
- 4．Ⅰペテロ第 1 章 22 節は言います、「あなたがたは真理に対する従順によっ

て、自分の魂をきよめて、偽りのない兄弟愛へと至ったのですから、純粋な心から互いに熱く愛し合いなさい」：

- a. これが意味することは、わたしたちの魂(わたしたちの思い、感情、意志)がきよめられることは、わたしたちの魂が神以外のすべてのものから救い出されて、ただ一つの対象また唯一の目標としての神に結び付けられることであるということです(I コリント 2:9-10. II テサロニケ 3:5)。わたしたちが真理、すなわち、キリストにあるわたしたちの信仰の内容と実際に服従するとき(II テモテ 4:7. テトス 1:1)、わたしたちの魂全体は神に集中し、こうして神以外のすべてのものからきよめられます。
 - b. わたしたちの魂がきよめられることは、わたしたちの全存在を神に集中させ、それによってわたしたちは心を尽くし、魂を尽くし、思いを尽くして神を愛するようになります(マルコ 12:30)。そのようにきよめられることの結果は、偽りのない兄弟愛、すなわち、神が愛する者たちをわたしたちが心から熱く愛するということです(ヨハネ 13:5, 14-17, 34-35. II ペテロ 1:5, 7. ローマ 12:9-11. II テモテ 1:6-7. I テサロニケ 3:12. 4:9-10. ヘブル 13:1. I ヨハネ 2:5-8. 3:11, 23. 4:7-8, 16-21)。
- B. わたしたちは教育を受け、真理をもって他の人たちを教育する必要があります。それは神の証し、すなわち、神の団体的な表現のためです——II テモテ 2:2. I テモテ 3:15-16. 6:3. I コリント 14:31：
1. 聖なる都である新エルサレムの十二の土台は、小羊の十二使徒の名を帯びています。これが示していることは、新エルサレムが、使徒たちの教え、すなわち、神のエコノミーの健康な教えにしたがって建てられているということです——啓 21:14. 使徒 2:42. II テモテ 1:15. テトス 1:9. II テモテ 2:2。
 2. エズラは、神の律法に精通していました。この律法は、神のエコノミーと関連があります。律法は、キリストが神の御言、神の証し、神の肖像画、神の表現であることを予表しています——出 16:34. 34:28. 参照、啓 1:2。
 3. わたしたちが書かれた言葉の中で、生ける言葉であるキリストに来ることによって、彼は適用された言葉となることができ、わたしたちは彼を注入されて、イエスの証しになることができます——ヨハネ 1:1. 啓 19:13. ヨハネ 5:39-40. 6:63. 啓 1:2, 10-11。

4. わたしたちは神のエコノミーの教えの唯一の務めの中にとどまることによって、御言の内在的な意義を把握して、命の光で満たされることが出来ます——ネヘミヤ 8:8, 13. マタイ 4:12-16. ヨハネ 1:4-5。
 5. わたしたちは、新しい文化(新しい人の神・人の文化)の中にある新しい言語、すなわち、「ユダヤの言葉」を用いることを学ばなければなりません——ネヘミヤ 13:23-24。
- C. わたしたちは、恵みで再構成される必要があります。この恵みは、手順を経た三一の神がわたしたちの命またすべてとなることです—— I ペテロ 5:10. II コリント 13:14. ヘブル 10:29 :
1. 十二使徒は新約の恵みを表します。これが表徴するのは、恵みが、新エルサレムを生み出すための源、要素、手段であるということです——啓 21:14。
 2. わたしたちは、恵みの上にさらに恵みを加えることによって構成され、恵みによって労苦し、恵みを分与し、恵みの言葉を供給する必要があります——ヨハネ 1:16. I コリント 15:10. I ペテロ 4:10. 使徒 20:32。
 3. 新エルサレムが建造されるのは、神がご自身を人の中へと構成し込んで、人を神格においてではなく、命と性質において彼であるのと同じにすることによってです。それによって、神と人は団体的な実体となって、相互の住まいとなります——啓 21:2-3, 10-11, 18-22 :
 4. わたしたちは、ただ一つの働き、すなわち、新エルサレムの働きを行なうべきです。わたしたちの内側で活動する神が、前進して彼の選ばれた者たちを導いて、彼の有機的な救いの主要な各段階、すなわち、再生、聖別、更新、造り変え、同形化を経過させて、栄光化へともたらずとき、わたしたちは彼と一である必要があります。
 5. このようにして、わたしたちは一層一層と上っていき、ついには最高点に到達します。そこにおいて、わたしたちは同じになります。もはや肉はなく、天然の存在もありません。みな霊の中におり、みな新エルサレムの中の人です。これが神の働きの最高点であり、わたしたちは彼の同労者です——ヨハネ 5:17. ピリピ 2:13. 啓 4:3. 21:11. I コリント 3:9, 12. II コリント 6:1. I テサロニケ 3:2。
 6. 「手順を経て究極的に完成された三一の神は、彼の願いの大いなる喜びにしたがって、また神のエコノミーにおける最高の意図のために、彼ご自身を彼の選ばれた人の中へと建造し込み、また彼の選ばれた人を彼ご自身の中へと建造し込んでいます。それは彼が、キリストの中にある神性

と人性とのミングリングである構成体を持って、それを彼の有機体またキリストのからだとならせ、彼の永遠の表現と、贖う神と贖われた人との相互の住まいとするためです。この宝の奇跡的な構造の究極的な完成は新エルサレムとなり、永遠に至ります」——ウイットネス・リー。

D. わたしたちは、完全に神へと分離されて、完全に神で浸透され、召会生活のために聖なる生活をし、わたしたちを聖なる都としていただく必要があります——啓 21:2. II ペテロ 1:4:

1. 思いの更新とその結果である造り変えは、この世の要素で浸透されているわたしたちの天然の性質と生活から、わたしたちを分離し、救います——啓 21:12 前半. ローマ 8:5-6. 12:2, 5-11. エペソ 4:23。
2. わたしたちは霊の中で生きることとキリストを隠されたマナとして食べることにによって、この世に打ち勝ち、神の建造となることができます——I ヨハネ 5:4, 18-19, 21. 啓 2:12-17. 参照、ヨハネ 14:30。
3. わたしたちは、バビロンの偶像のこの世から完全に分離される必要があります。バビロンの偶像のこの世は、商売や商業の悪によって特徴づけられており、むさぼり、欺き、金銭愛とかかわりがあります。わたしたちのクリスチャンの生活には、金銭愛はあるべきでなく、わたしたちのクリスチャンの働きは、金もうけの職業であるべきではありません——ゼカリヤ 5:5-11. I テモテ 3:3, 8. 6:5-10. 使徒 11:29-30. 20:33-34. II テモテ 3:2-4. ヘブル 13:5. II コリント 2:17. 12:15. 参照、列王下 5:15-27:
 - a. サタンは商売人、商人です。彼の思想は、彼の商業の原則にしたがっており、それは人を創造した神の定められた御旨に相反しています——エゼキエル 28:16, 18. ヨブ 1:9. 参照、ピリピ 3:7-8. 創 1:26。
 - b. バビロンによって売られる荷の第一項目は金であり、最後の項目は人の魂です。「人の魂」は、雇われるために自分自身を売る人を指します——啓 18:12-13. 参照、II ペテロ 2:3, 15。
 - c. これは、来たるべきバビロンを描写するだけでなく、今日の世界をも描写しています。人々は、自分の魂、自分の命、すなわち、自分自身を、その職業に売って、神と自分の永遠の運命を無視しています——参照、ルカ 12:13-21。
 - d. 神の主権は、イスラエルの民が捕囚にあったときにバビロン人から学んだ商売の中の悪を、バビロン(シナルの地)へ戻します——ゼカリヤ 5:10-11. 創 11:2, 9。

E. わたしたちは城壁を建造して、神の家としての召会を保護する必要があります：

1. わたしたちは、小羊の勝利の血を通して、城壁を建造することができます。この血は、わたしたちが悔い改め、罪を告白することと、神が浄化してくださることを神に求めることを通して、わたしたちに適用されます——啓 12:11. 詩 51:18。
2. わたしたちは神の群れを牧養しなければなりません。それは、唯一の新約の務めの一つのラッパを吹き鳴らして、神のすべてのみこころを神の群れに言い表し、主の保護する警告と健康な教えをもって神の言葉を完成することによってです。それは、彼らがキリストの中で完全に成長するためです——I コリント 14:8. エペソ 4:11. 使徒 20:26-35. エゼキエル 33:1-11. 34:25. コロサイ 1:24-29。
3. わたしたちはからだの中で戦うことによって、城壁を建造して召会を保護しなければなりません——ローマ 16:20：
 - a. からだは神のすべての武具を身に着けて、あらゆる肢体に保護を与えます。わたしたちは、からだの助言とおおいを尋ね求めて、からだの保護と防衛を受けなければなりません——エペソ 6:10-20. マタイ 16:18. 使徒 21:4, 11-12。
 - b. 霊的戦いは、この原則によります。すなわち、一人が千人を追い、二人が万人を逃げ去らせるということです——申 32:30. 伝 4:9-12. 出 17:11-13。
4. わたしたちは城壁を建造して、地上における神の神性の豊富の權益と彼の究極的完成の到達を保護しなければなりません——参照、ヨハネ 1:12-13. イザヤ 9:6. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:17. 4:5. コロサイ 1:18. 使徒 2:36. 5:31. ヘブル 4:14. 9:15. 7:22. 8:2. I ヨハネ 2:1. ヨハネ 15:26. ローマ 8:34, 26。

F. わたしたちはキリストによって生き、キリストを生かし出し、こうしてキリストを大きく表現する必要があります。それによってわたしたちは、神の表現としての召会を建造することができます——出 40:34-35. 列王上 8:1-11. ローマ 13:14, 12. I コリント 3:16-17. ピリピ 1:19-21 前半. 啓 21:3, 22, 10-11：

1. 都の城壁は、神の表現のためです。こういうわけで、「城壁を建て上げ」(ネヘミヤ 2:17)ることは、神の表現としての召会を建造することです(マタイ 16:18. エペソ 2:20-22. 4:11-16. I コリント 3:9-17. 啓 4:3.

21:11, 18-19)。

2. 今日、主はご自身の回復の中で働いており、キリストの表現としての正しい召会の中にあるキリストの正常な状態を回復しています——エペソ 3:16-21. 啓 4:3. 21:11, 18-19。
3. わたしたちは神を表現するために、キリストのからだ全体のブレンディングの生活の中で、神聖な三ーとミングリングされた生活をすることによって、わたしたちの天然の性情と自己の様から救われる必要があります——ローマ 5:10. レビ 2:4-5. I コリント 12:24-25。
4. わたしたちは神を表現するために、言葉の中の水の洗いによって日ごとに聖化され更新されて、わたしたちの花婿であるキリストへとささげられ、彼の純粋で、栄光に満ちた、神を表現する花嫁となる必要があります——I コリント 12:24. エペソ 5:26-27。

©2022 Living Stream Ministry